

教育家庭新聞

2024年(令和6年)

8月12日

月曜日

第2257号

仲秋・葉月

機軸の日(8/7) 立秋(8/7) 俳句の日(8/19)

夏休み特別号

第1週教育マルチメディア・第3週合併号

発行所=〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8 TEL:03(3864)8241代 FAX:03(3864)8245 郵便振替口座 1309-53693

購読申込み ☎03(3864)8241 Eメール kks@knews.co.jp

ホームページ https://www.knews.co.jp/

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社 1部 480円

紙面案内

多様な学びに対応する柔軟な環境へ

- 2・3面 探究的な学びを充実
4・5面 PTA・卒業記念品特集
6面 教育委員会対象セミナー東京 報告
7面 教育委員会・学校ニュース
8・9面 学校給食・施設整備・栄養教諭
10面 【対談】NEXT GIGAの管理・運用

防災用折りたたみヘルメット Flatmet-kids フラットメット キッズ
子どもたちの安全を守ります。
https://midori-anken.com

年間購読申込書
「教育家庭新聞 教育マルチメディア号」は毎月第1週、「教育家庭新聞」は第3週に発行します。
お名前、ご職業、ご住所、連絡先、お支払方法

主体的・対話的で深い学びが浸透
自己肯定感や格差の解消に効果

次期学習指導要領改訂のためには、現行の学習指導要領の成果を明らかにする必要がある。7月10日に行われた「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会(第13回)」では、次期改訂の準備として「小学校学習指導要領実施状況調査」について、国立教育政策研究所・大金伸光教育課程研究センター長が速報版を報告。また、お茶の水女子大学の富士原紀子委員は2023年度全国学力・学習状況調査(以下、全国学力調査)で示された調査結果と、それをもとにした同調査による学校訪問調査により、「格差を克服している学校」の特徴を分析、調査結果によると主体的・対話的で深い学びの浸透が自己肯定感や格差の解消に効果をもたらしていることが示唆された。

小学校学習指導要領実施状況調査

主体的・対話的で深い学びが学習指導を改善
学習指導要領が目指す
資質・能力は育成され
ているのか。子供たちの
学びに向かう力、向き
合い、カリキュラム・マ
ネジメントや学校裁量
をどう進められている
のか。
「小学校学習指導要領
実施状況調査」は、現
在の学習指導要領の浸
透程度や改善の方向
性を明らかにするた
めに、2023年2・3
月に公立小学校1770
校(無作為抽出)に対
象として実施された。
調査結果は、以下の
通りである。

格差を克服している学校のカリキュラム・マネジメント

Table with 2 columns: 小学校, 中学校. Rows describe curriculum management strategies for schools that have overcome the achievement gap, such as '重視: PDCAサイクルの確立' and '言語活動の重視'.

生成AI「学校活用」のガイドラインを改訂

文部科学省は「初等中等教育段階における生成AI活用に関する検討会議」(石川正俊座長、東京理科大学学長)を設置し、昨年7月に策定した「初等中等教育段階における生成AIの活用に関する暫定的なガイドライン」の改訂について検討を始めた。第1回会議は7月25日に第2回が8月8日に開催された。第1回は初等中等教育段階における生成AIの取扱いに関する事業者、委員からのヒアリングを行い、9月以降に改訂案を検討。秋冬頃、ガイドライン改訂版(Ver.2.0)を取りまとめることを当面の予定としている。教員利用と児童生徒利用をそれぞれについて示されることになった。

活用推奨の理由明確に

社方ガイドライン第1.0版を公表したばかりだ。昨年7月公表のガイドラインは生成AIの活用に関する実証研究に着手したところ。動向改革に資する生成AI活用に関する取組を促進する。生成AIの活用に関する取組を促進する。生成AIの活用に関する取組を促進する。

年間購読申込書
「教育家庭新聞 教育マルチメディア号」は毎月第1週、「教育家庭新聞」は第3週に発行します。
お名前、ご職業、ご住所、連絡先、お支払方法

そらの郷 山里物語
SDGs実践 アクティブラーニング
Education for Sustainable Development
ESD体験型教育旅行
お問い合わせ: 一般社団法人そらの郷 教育旅行 ☎0883-76-0713

「格差」克服の要因を分析
「格差を克服している学校」とは、子供の社会的地位(SES)に本調査で所得、父親学歴、母親学歴)から予測される学力を大きく上回っている学校。通算の有無やSESの高低に関係なく、学校で主体的・対話的で深い学び(以下、「主体的・対話的で深い学び」)に関する取組を行っている学校。調査結果は、以下の通りである。

教科横断的な視点や言語活動充実で成果

「格差を克服している学校」とは、子供の社会的地位(SES)に本調査で所得、父親学歴、母親学歴)から予測される学力を大きく上回っている学校。通算の有無やSESの高低に関係なく、学校で主体的・対話的で深い学び(以下、「主体的・対話的で深い学び」)に関する取組を行っている学校。調査結果は、以下の通りである。

活用推奨の理由明確に
社方ガイドライン第1.0版を公表したばかりだ。昨年7月公表のガイドラインは生成AIの活用に関する実証研究に着手したところ。動向改革に資する生成AI活用に関する取組を促進する。生成AIの活用に関する取組を促進する。生成AIの活用に関する取組を促進する。

学校運営協議会土台に
学校安全を推進
ICT授業を支える「快適無線」
ACERA 1320
FURUNO SYSTEMS

SDGs実践プログラム、STEAM・PBLプログラム実施中
私たちは、衛生管理の徹底を心がけています!
かけがえのない家族として、お互いの命を守る為には、考えられる限りの「事前準備」が必要です。私たちは万全の態勢で、皆さんを心よりお待ちしております。

連載 GIGA 端末を活かす! 教員研修 授業活用
38 中学校区で情報共有 情報活用能力を高める 福岡県苅田町
福岡県の苅田町教育委員会(井上三津子教育長)では、福岡県教育委員会の研究指定を受けて、情報活用能力の育成に注力している。調査結果は、以下の通りである。

四国・徳島
修学旅行/校外学習/キャリア教育
SDGs実践 アクティブラーニング
四国・徳島西部に「阿波」そのの郷」では、ローカルSDGsの実践現場として、地域ESD活動推進拠点に登録されています。